

クロード・モネ《国会議事堂、陽光の効果》1903年

ニューヨーク・ブルックリン美術館所蔵

French and American Impressionist Works
From the Collection of the Brooklyn Museum of Art

2001
4/20—5/20
(FRI) (SUN)

開館時間／火～金曜日 午前9時30分～午後7時 土・日曜日・祝日 午前9時30分～午後5時
入室はいつでも閉館30分前まで 初日は午前10時開展式

休館日／月曜日〔ただし4月30日(月・祝)は開館 5月1日(火)は閉館〕

入場料／一般1,000円(800円) 高大生600円(480円) 小中生300円(240円)

- ◎ ()内は前売りおよび団体20名様以上の料金
- ◎ 65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
- ◎ 第2・第4土曜日は小・中・高生入場無料

主催：高松市美術館／毎日新聞社／山陽放送 協力：日本航空 企画協力：(株)プレントラスト

This exhibition has been organized by the Brooklyn Museum of Art

印象派展

フランス—アメリカ

高松市美術館 Takamatsu City Museum of Art
〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel.087-823-1711



クロード・モネ (バラツォ・ドゥッカラー、ヴェニス) 1908年



ジョン・シンガー・サージेंट (戸外制作 (スケッチするポール・エルーと夫人)) 1889年



ベルト・モリゾ (ブルシエ夫人と娘) 1873年頃

French and American Impressionist Works From the Collection of the Brooklyn Museum of Art

1823年に創立したニューヨーク・ブルックリン美術館は、古代エジプトから現代アメリカまで古今東西の優れた美術作品約150万点を収蔵する、世界屈指の美術館として知られています。本展では、同館が誇るフランスとアメリカの印象派コレクションの中から精選した油彩・水彩・版画などの名品、あわせて約90点を紹介します。

19世紀後半にフランスで誕生した印象派は、近代都市における人々の営みや田園の風景を、明るい色彩で生き生きと描きました。身のまわりの光景をみずみずしいタッチであるがままにキャンパスの上に表現しようとした彼らの試みは、当時にとってはさきわめて斬新なものであり、すべての近代絵画の出発点となったといっても過言ではありません。

本展では、そうした印象派の流れをモネ、ドガ、ルノワール、ピサロ、シスレーといったフランス印象派の巨匠たちの名作群でたどると同時に、フランス印象派を受容し独自の展開を遂げたサージेंट、カサット、ロビンソンといったアメリカ印象派たちの活動も紹介します。フランスとアメリカにおける印象派の展開を総合的にとらえ、その真髄に触れることのできるまたとない機会です。



メアリー・カサット (赤い服の女性と子供 (母と子)) 1901年頃

ギャラリートーク

担当学芸員によるギャラリートーク

4月21日(土)、28日(土) 午後2時～ 2階展示室にて

美術館ボランティアcivi (シヴィ) によるギャラリートーク

毎日曜日および祝日 (4月22日、29日、30日、5月3日、4日、5日、6日、13日、20日)

午前11時～/午後2時～ (1日2回) 2階展示室にて

常設展のお知らせ

第1期常設展

4月4日(水)～6月10日(日)

印象派展のチケットをご覧ください。

次回催し物のお知らせ

ポラロイドコレクション・アメリカ写真の世紀展

6月1日(金)～7月1日(日)



エドワード・ヘンリー・ポットハスト (水浴する人々) 1913年頃

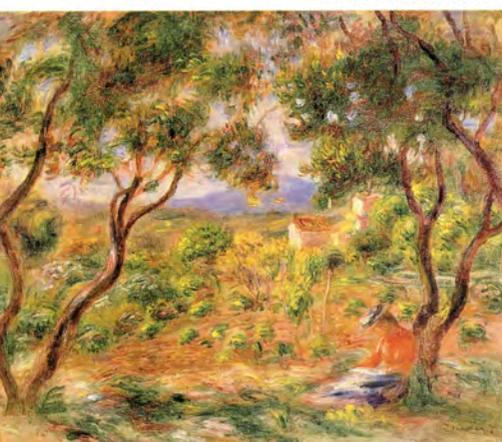


交通のご案内

JR四国—JR高松駅下車、南へ徒歩15分
琴平電鉄—五町駅—片原町駅下車、徒歩10分
バス路線—組屋町バス停下車、徒歩3分
駐車場—美術館地下に公営駐車場 (有料、乗用車144台収容)



エドガー・ドガ (パレエ「泉」におけるフィオクル嬢) 1867-68年頃 (部分)



ピエール=オーギュスト・ルノワール (カーニュのぶどう園) 1908年頃



カミーユ・ピサロ (レルミタージュの坂道、ポントワーズ) 1875年